

本号は、最近の胃癌診断において形態的診断がおろそかになっているのではないかとこの危惧から企画された。つまり、胃生検がルーチン化され、異常粘膜を発見すると即生検し病理診断に頼る臨床医が増えているのではないかと、これまで諸先輩方が築き上げてきたすばらしい形態診断学がすたれてはいないかという危惧である。

本号では、内視鏡像と組織像の対比の集計から内視鏡による肉眼的診断はかなり正確になされていることがわかったが、一方で良性和判断しながらもかなりの数が生検されているのが現状である。それは、内視鏡的に良性様所見を呈する癌が存在することをわれわれは知っているからである。そして、そのような癌(胃炎様所見の癌や微

小癌など)の頻度や臨床病理学的特徴が解析され、典型的な症例が呈示された。また、生検偽陰性例は癌自体の形態的特徴の問題以外にも、癌組織が採取されにくい病変(スキルスや粘膜下腫瘍様癌)の存在や異型の低さ(超高分化腺癌)による病理診断の問題も指摘されている。生検で Group III あるいは Group V と診断された病変の臨床的取り扱いについても言及され、生検診断における臨床的・病理的問題点が浮き彫りにされた。

ここに示されたような良性様所見を呈する胃癌の特徴を十分に把握し、胃癌の発見から診断・治療に至る過程の問題点を念頭に置くことが、形態診断学の更なる向上と誤診防止に有用であることを期待する。

胃と腸

発売予定 12月25日
12月号(第34巻・第13号) 予告 定価 (本体2,100円+税)

主題／大腸腫瘍の内視鏡診断は病理診断にどこまで近づくか

序 説	大腸腫瘍の内視鏡診断は病理診断にどこまで近づくか……秋田赤十字病院・胃腸センター	工藤 進 英
主 題	大腸腫瘍のミクロとマクロの対比における最新の知見……新潟大・1病理	味岡 洋一・他
	大腸腫瘍の pit pattern と病理組織診断は一致するか……福岡大筑紫病院・病理	岩下 明德・他
	通常内視鏡下 pit 観察による大腸腫瘍・非腫瘍の鑑別能の検討	
	—5 mm 以下の病変を対象として……久留米大・2内	鶴田 修・他
	大腸の通常内視鏡診断はどこまで病理診断に迫れるか……福岡大筑紫病院・消化器科	津田 純郎・他
	電子内視鏡による大腸腫瘍表面微細構造の観察	
	—拡大観察と通常観察の比較検討……広島大・光学医療診療部	田中 信治・他
	大腸拡大内視鏡診断はどこまで病理診断に近づいたか……秋田赤十字病院・胃腸センター	今井 靖・他
	大腸拡大内視鏡診断はどこまで病理診断に近づいたか	
	—大腸上皮性腫瘍を対象として……国立がんセンター中央病院・消化器科	藤井 隆広・他
主題症例	大腸拡大内視鏡診断はどこまで病理診断に近づいたか……神戸海星病院・消化器病センター	三戸岡英樹・他
	pit pattern による深達度診断が難しかった Is 型早期大腸癌の 1 例……順天堂大・消内	寺井 毅・他
	ピオクタンニン染色による拡大観察が有用であった	
	陥凹型早期大腸癌の 1 例……新潟臨港総合病院・消内	林 俊彦・他
	拡大内視鏡による深達度診断が困難であった大腸 m 癌の 1 例……高知医大・1内	田村 智・他
	拡大内視鏡診断が有用であった LST 顆粒型早期大腸癌の 1 例……秋田赤十字病院・胃腸センター	中原 貴子・他
	拡大内視鏡診断が有用であった Isp 型早期大腸癌の 1 例……多摩がん検診センター・消化器科	中村 尚志・他
	拡大内視鏡で正診しえた陥凹を伴う非顆粒型側方発育大腸腫瘍(LST)の 1 例……新潟大・3内	鈴木 裕・他
座 談 会	大腸腫瘍の内視鏡診断は病理診断にどこまで近づくか……秋田赤十字病院・胃腸センター	工藤 進英・他

胃と腸 (第34巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocoyo@igaku-shoin.co.jp

1999 年 11 月 25 日発行(毎月 25 日発行)

1 部定価(本体 2,100 円+税) (配送料 124 円)

1999 年年ぎめ予約購読料 29,890 円

(増刊号 4,600 円を含む 13 冊) (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1999, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

•  <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当)小松原・天野・小長谷・向山